



SSH通信2015



Vol. 8
[2016.2.12]

SS クラス中間発表会特集号

☆平成 28 年 1 月 14 日（木）2 年 SS クラスの「中間発表会」が、本校視聴覚室で行われました。

「科学研究Ⅰ」で取り組んできた課題研究の途中経過を発表するとともに、関係者から指導・助言をいただいて今後の研究に生かすことが目的です。参加された SSH 運営指導委員（宇大、東大、お茶の水大の先生方、県博物館の先生など）からも貴重なアドバイスをいただき、3 月の発表会本番に向けてますます頑張っています！



2 年理型の生徒が入れ替わりで参加しました。

活発な質疑も。

先生方からは熱心な指導が。

《中間発表を終えて、指導担当の先生からメッセージ》

中間発表から約 1 ヶ月経ちましたが、どのくらい研究が進められたか振り返ってみましょう。

発表に対する指摘事項や自分たちの反省等によって研究を大幅に進めることができます。

今まで何回も先輩方の中間発表を見てきましたが、発表内容や質問への応答等、最も良い発表会だったと思っています。

「あの」準備時間でこれだけの発表できたので、本発表ではさぞ…と期待しています。「自分たちは理解しているか」

「初めて聞く人」は理解できるか、伝わるかを常に意識して研究や発表準備を進めてください。

（理科 阿久津 浩）

Event Information

SSH 生徒研究発表会

平成 28 年 3 月 18 日（金）
栃木県教育会館大ホール

プログラム →
（予定）

2 年 SS クラス 42 名（13 グループ）が 1 年間の研究成果を発表します。
昼食をはさんで 14:30 くらいまでが発表、その後でポスターセッションがあります。

全校生徒参加の行事です。
お楽しみに◎！

10:00~11:00	
I	1 Prime numbers
	2 折り紙の数理
	3 藍染めの魅力を科学する
	4 ゼニゴケの生活環を管理する
11:10~12:10	
II	5 打楽器の物理
	6 ミジンコを使って生活用水が環境に与える影響を調べる
	7 イチゴは多数決を理解するのか
	8 ブランコの物理
13:00~14:15	
III	9 発ガン抑制物質を探せ
	10 メイラード反応の研究
	11 色素分解
	12 低温刺激処理によるメダカ胚の染色体倍加
	13 振動反応でメディアアートを作ろう

☆出前授業Ⅱ（工学分野）

9月30日（水）15:40～（化学講義室）

講師：本田技研 畠井 文子先生

「機械工学×スクーターの開発」

1年19名、2年4名参加

スクーター開発や、その仕事につくまでを聞かせていただいた。実際の開発がどのように行われているかを知ることで、新たな興味がわいた。また、男性の多い職場でも「女性目線」が重要な場面もあるらしく、女性の活躍も大きいと実感した。先生は、ある講座で印象を受けて職業を決めたと聞き、ひとつひとつのことが人生を変えるかも知れないから、大切に過ごしていこうと思った。（1-7 S・M）



☆出前授業Ⅲ（医学分野）

11月11日（水）15:35～（化学講義室）

講師：自治医科大 黒尾 誠先生

「アンチエイジングを科学する」

～文系人間にも必要な科学的思考法～

1年19名、3年2名参加

老化のメカニズムについてお話をいただいた。偶然生まれた老化が進むマウスを、生涯かけて探求する姿に圧倒された。仮説と検証というプロセスを幾度となく繰り返し、多くの失敗をする中で、ひとつの真理は導かれるのだと知った。「正しい仮説は美しい。日頃から正しいものを見ていないと、間違っているものはわからない」という言葉が印象に残った。私もたくさんの方に触れ、感性を磨いていきたい。（1-5 H・A）



☆1年生講演会 10月22日（木） 第3回定期テスト最終日午後（第2体育館）

講師：東北大学大学院生命科学研究科教授 渡辺 正夫先生

「大学教授からの進路選択アドバイス」 ～進路、就職、人生を戦略的に考える～

渡辺先生は、植物の受精という専門的な話だけでなく、先生自身の経験を踏まえた進路のお話をしてくれた。専門的な内容もカップルに例えて話され、とても分かりやすかった。また、クイズ形式の参加型講演会で、自分自身で考えて参加をすることができた。今回の講演会によって、「今の自分」がすべて未来につながることを実感し、また、覚悟を決めることの大切さも学んだ。（1-4 S・A）



植物の話から始まり、先生の専門である「自家不和合性」（両性花の植物が同一の個体の雌花・雄花と受精できない仕組み）のことなど、はじめは進路に関係ない説明だと思ったことも、先生自身のこれまでの人生が語られていく中で、辿ってきた道が現在に繋がっているのだというある意味当たり前前にことに気づいた。自分の望む未来に繋がっている道を進むために、進路について深く考えようと思った（1-7 O・A）

1年生
全員集合！



渡辺先生ー！